

KITAYO



大注目! “お絵描きばりぐっどくん”

今年の夏、情報工学部4年の西野颯真さんの開発したLINE BOT「お絵描きばりぐっどくん」がリリースされました。2022年8月に英国のStability AI社などにより開発・無償公開された画像生成AI「Stable Diffusion」をLINEアプリで使用できるようにしたもので、LINEで友だちになると誰でも簡単にAIを利用して画像を作成することができます。リリースされるやいなや日本中の注目を集め、友だち登録者数200万人*の大火に迫る大人気のLINE BOTとなっています。民放キー局の情報番組をはじめ、ネットメディアなどにも多数取り上げられるなど多方面から注目を浴びています。今回はそんな「お絵描きばりぐっどくん」の特徴や利用方法をあらためてご紹介!そして、開発者の西野さんは一体何者なのか、学報KITAYO制作チームによる単独インタビューで迫ります。*2022年10月31日現在で友だち1,962,871人



「お絵描きばりぐっどくん」とは

AI画家“Stable Diffusion”を使ったお絵描きがLINEで簡単にできるよ!
“ゴッホが描いた長崎県西海市の港”
“ピカソが描いた福岡県飯塚市の大学のキャンパス”
などなど、描きたい絵を表す言葉をお絵描きばりぐっどくに送ってしばらく待つと、絵が返ってくるよ!日本語でも英語でも入力OKだよ!

【ここが便利!】

「こんな絵があつたらいいな」がすぐに解決!
AIが書いたあなたのためだけの絵!
LINEであつという間にハイクオリティな絵を生成。
(「ばりぐっど大学ウェブサイト」<https://vgu.community/> から引用)



開発者の西野さんに迫る10の質問!

Q05 研究室では何を研究していますか?卒業後の予定は?

荒木研究室で暗号・ブロックチェーンを学んでいます。ばりぐっどくんの仕事がかかって機械学習に興味湧き、機械学習と暗号を組み合わせた研究をする予定です。このまま修士課程に進んで、研究を続ける予定です。



Q01 LINE BOTにしようと思ったきっかけは?すぐに思いついた?

SNSでStable Diffusionの噂聞き、すぐに試してみたんですが、英語だしコードの知識も必要で、一般の人が使うにはハードルが高かったです。誰でも気軽に使えやすくて...ということでLINEに決めました。

Q06 2年生からコロナ渦の学生生活となりましたね...

正直なところ、講義のオンデマンド化がすすんで、とてもありがたかったです。講義は午前中にすべて済ませて、午後からは自分のやりたい勉強に集中することができました。

Q07 九工大に入ってよかったことは?

努力して成果を出せばちゃんと認めてもらえるし、気の合う仲間を見つけやすい環境だと感じています。

Q08 周囲の先生方の反応はいかがですか?

指導教員の荒木先生も喜んでくれています。「君ならできる」といつも背中を押してくれる小田部先生は心強い存在です。

Q09 将来の目標を教えてください!

今はこれといった具体的な目標はないです。そのとき興味があることに対して、全力で取り組むという感じですね。近い将来としてはGoogleのような企業で働いてみたいとは思いますが、しばらくは研究を続けるつもりです。

Q10 お絵描きばりぐっどくんで描いた西野さんお気に入りの1枚をお願いします。

魅力的な若い女性サイボーグ、非常に詳細な油絵、インバストブラシストローク、柔らかい光、8K、サイバーパンクカラーパレット、劇的な構成、劇的な照明、シャープフォーカス、コンセプトアート、傑作。



Q02 ばりぐっどくん完成まで大変でしたか?

作成期間は3日程度でした。実働時間でいうと10時間くらいだと思います。開発はすべて自分1人でおこないました。

Q03 プログラミングは昔から得意だった?いつから始めましたか?

大学から始めました。もちろん高校生の頃から興味はあったんですが、PCを持っていなかったんで...

Q04 これまでに開発したアプリは他にもありますか?

災害報告アプリMAPCHAIN (Digital Hackday 2021でW受賞!) など色々あります。アプリ開発をおこなう学生団体Cometの代表をしていて、趣味としても開発を楽しんでいます。

HOW TO USE



こちらのQRからLINEでお絵描きばりぐっどくんを友だち登録します。



トーク画面で、描きたい絵を表す言葉をばりぐっどくに送ります。



しばらく待つと、送った言葉が画像になって返ってきます。



COOL!